

令和 4 年 6 月 27 日現在

機関番号：37116

研究種目：基盤研究(C) (一般)

研究期間：2017～2021

課題番号：17K12203

研究課題名(和文) 女性看護師が生き活きと労働生活を送るための要因に関する研究

研究課題名(英文) Research on the factors that enable female nurses to lead active working lives

研究代表者

岡田 なぎさ (Okada, Nagisa)

産業医科大学・産業保健学部・准教授

研究者番号：20341521

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 3,500,000円

研究成果の概要(和文)：予備調査の結果をまとめて学会および論文にて発表したことに加え、予備調査の結果を基に本調査を実施した。その結果、多重役割のある女性看護師は、多重役割のない女性看護師よりも精神健康度および看護実践の質と正の相関がある職業経験の質が高かった。また、精神健康度には、SOC(ストレス対処能力)、ストレス対処行動の「回避と抑制」、仕事の要求、仕事の資源、ワーク・ライフ・バランス、疲労、多重役割の有無が関連し、職業経験の質には、SOC(ストレス対処能力)、ストレス対処行動の「積極的問題解決」、レジリエンス(逆境に適応する能力)、仕事の資源、ワーク・ライフ・バランス、ワーク・エンゲイジメントが関連していた。

研究成果の学術的意義や社会的意義

近年、労働者のメンタルヘルスにおけるポジティブな視点が注目されているが、女性看護師の労働生活への関連要因やアウトカムへの「家庭領域」の影響は明らかでない。本研究では、就労する女性看護師が生き活きと労働生活を営める要因を明らかにするため、女性看護師を対象に横断的質問紙調査を実施し、「家庭領域」要因を含めて検討した。分析の結果、JD-Rモデル(Job Demands-Resource model：仕事の要求度-資源モデル)と一致し、本研究で着目した「家庭領域」要因も健康・組織アウトカムに関連した。女性看護師の生き活きとした労働生活には、「仕事領域」のみならず「家庭領域」の要因の重要性が示された。

研究成果の概要(英文)： In addition to presenting the results of the preliminary survey at academic conferences and papers, this survey was conducted based on the results of the preliminary survey. As a result, female nurses with multiple roles had a higher quality of work experience that was positively correlated with mental health and quality of nursing practice than female nurses without multiple roles. Mental health is related to SOC (stress coping ability), "avoidance and suppression" of stress coping behavior, work demands, work resources, work-life balance, fatigue, and the presence or absence of multiple roles. The quality of experience is related to SOC (stress coping ability), "active problem solving" of stress coping behavior, resilience (ability to adapt to adversity), work resources, work-life balance, and work engagement. Was there.

研究分野：看護学、ヘルス・プロモーション

キーワード：医療・福祉 女性看護師 多重役割 スピルオーバー ワーク・エンゲイジメント 精神健康度 職業経験の質

科研費による研究は、研究者の自覚と責任において実施するものです。そのため、研究の実施や研究成果の公表等については、国の要請等に基づくものではなく、その研究成果に関する見解や責任は、研究者個人に帰属します。

## 1. 研究開始当初の背景

近年、わが国では労働者のメンタルヘルスの改善を目指し、様々な取り組みが行われている。また、国内外において、従来の疾病生成論的な発想から健康生成論的な発想へ転換され、労働者のメンタルヘルスについて、ポジティブな側面からの検討が増えつつある。中でも、Aaron Antonovsky が提唱したストレス対処能力である SOC (Sense of Coherence、以下 SOC) や、Schaufeli、W.B.らが提唱した人間の持つ強みや仕事に対する積極的な認識である WE (Work Engagement、以下 WE) などに関心が高まっている。

看護職は対人援助職であるため、看護職自身のメンタルヘルスが患者や家族の看護の質に大きく影響するため、ストレスマネジメントは看護者の責務でもある。NIOSH の職業性ストレスモデルによると、「仕事上のストレス要因」に家庭/家族からの要求等の「仕事外の要因」が加わり、心身の健康度が低下する。わが国の常勤看護師の離職理由は「結婚」「出産」「子育て」などが上位を占めていることや、潜在看護師の 77.6% の者が再就労を希望するにも関わらず、再就労しない理由に「子育て」や「家事と両立しない」が多いことから (厚生労働省、2011) わが国では「結婚」「出産」「子育て」等のライフイベントは、就労する女性看護師が生き活きと労働生活を営むことを妨げていると考えられる。その理由として、女性看護師が、ライフイベントを迎えて妻/母親役割を持つことは、「仕事外の要因」である「家庭領域」からの要求に量的・質的变化がもたらされ、女性看護師にとってストレスとなることが推測される。しかしその一方で、先行研究では、未婚より既婚の女性看護師の WE が高い報告 (松本ら、2010) や、子どもがいる看護師は仕事に対する達成感が高くバーンアウトしにくい報告 (福島ら、2004) があり、女性看護師が妻/母親役割を持ち、「家庭領域」からの要求に対処することは、ポジティブな側面から検討すると、労働生活を営む上での強みとなる可能性が推測される。

仕事に対するポジティブな認識である WE を予測するモデルとして、「仕事の資源 - 要求度モデル」(Demerouti et al., 2001、Schaufeli & Bakker, 2004) がある。このモデルは、健康障害の発生や仕事のパフォーマンスに関するポジティブなアウトカムについて、「仕事の要求度」やバーンアウト、「仕事の資源」や WE など、「仕事領域」の変数のみにより説明されている。しかし、労働者は、婚姻状況に関わらず「仕事領域」と「家庭領域」において多重役割を担っているため、労働者の労働生活を検討する変数として「仕事領域」と「家庭領域」の両者が必要である。

「仕事領域」と「家庭領域」における多重役割の影響の一つにスピルオーバーがある (福丸、2003)。スピルオーバーには、2つの質 (ネガティブ、ポジティブ) と2つの方向性 (仕事 → 家庭、家庭 → 仕事) があり、仕事から家庭へのネガティブスピルオーバー (Work to Family Negative Spillover、以下 WFNS)、家庭から仕事へのネガティブスピルオーバー (Family to Work Negative Spillover、以下 FWNS)、仕事から家庭へのポジティブスピルオーバー (Work to Family Positive Spillover、以下 WFPS)、家庭から仕事へのポジティブスピルオーバー (Family to Work Positive Spillover、以下 FWPS) の4つがある。先行研究では、WFNS や FWNS は身体的・精神的健康やパフォーマンスなどのアウトカムに悪影響を及ぼす報告 (Allen TD, et al, 2000) (Frone MR, et al, 1992) や WFPS や FWPS がアウトカムに良い影響を及ぼす報告 (Grzywacz JG, et al, 2005) (McNall LA, et al, 2010) があり、「仕事領域」と「家庭領域」で担う多重役割は、労働者の健康状態や仕事のパフォーマンスを左右する要因だと推測できる。そこで、本研究では、女性看護師がいかにすれば生き活きと労働生活を送ることができるかを検討するために、概念枠組みとして、新たに「家庭領域」を追加した「仕事の資源 - 要求度モデル」を仮定した。

## 2. 研究の目的

本研究は、就労する女性看護師がいかにすれば生き活きと労働生活を送ることができるのかを明らかにするために、「仕事領域」に「家庭領域」の変数を含めて検討することを目的として、就労する女性看護師を対象とした横断的質問紙調査を行った。具体的には、対象者の、ワーク・エンゲイジメント、個人のストレス対処能力やコーピング特性等の個人要因、仕事や家庭の「要求度」及び「資源」、仕事と家庭における多重役割 (スピルオーバー)、健康アウトカムとしての「精神的健康」及び動機付けアウトカムとして「職業経験の質」の実態調査の実施、従来の「仕事の資源 - 要求度モデル」に「家庭領域」を新たに追加した『女性看護師の“仕事”と“家庭”の資源 - 要求度モデル』の構築について、段階的に取り組む。

## 3. 研究の方法

(1) 予備調査の結果を分析した。

(2) 予備調査の結果を踏まえ、本調査 (横断的質問紙調査) を実施した。本調査は、対象を全国の女性看護師に拡大し、予備調査の質問項目にレジリエンス (精神的回復力) を追加し、仕事以外に担う多重役割は、妻および母親役割に加えて介護役割も含めた。

(3) 調査の分析結果を基に仮定した『女性看護師の仕事の資源 - 要求度モデル』の検証を行った。

#### 4. 研究成果

##### (1) 予備調査の結果

A 県内の 1225 人の就労する女性看護師を対象とした横断的質問紙調査を実施した。分析の結果、就労する女性看護師のワーク・エンゲイジメントの向上には、コーピング方略の「視点の転換」「積極的問題解決」を用いることや「回避と抑制」を避けること、仕事の資源や家庭から仕事へのポジティブな影響が多いこと、多重役割があることが関連していた。加えて、仕事から家庭へのネガティブな影響と家庭から仕事へのポジティブな影響は多重役割あり群がなし群より高かったことから、多重役割を担う女性看護師においては、仕事から家庭へのネガティブな影響がある一方、家庭から仕事へのポジティブな影響が大きいことでワーク・エンゲイジメントが向上する可能性が示唆された<sup>1)</sup>。

また、最終アウトカムの精神的健康の関連要因を検討した結果、就労する女性看護師の精神的健康は、多重役割あり群がなし群より高く、精神的健康の向上には、仕事の資源が多いことやワーク・エンゲイジメントが高いこと、コーピング方略の「気分転換」「視点の転換」を用い、「回避と抑制」を避けること、仕事と家庭間の両方向のネガティブな影響が少ないことに加え、家庭から仕事へのポジティブな影響が多いことが関連することが新たに示された。職業経験の質は、看護実践の質と正の相関があることが確認されている<sup>2)</sup>。分析の結果、女性看護師の職業経験の質は用いた尺度の標準点より低く、多重役割がある看護師はない看護師より高かった。また、女性看護師の職業経験の質向上に個人資源や仕事の資源、ワーク・エンゲイジメントが関連し、JD-R モデル (Job Demands-Resource model: 仕事の要求度 - 資源モデル) と一致した。さらに本研究では、女性看護師の職業経験の質向上には仕事と家庭に関連した変数である FWPS (Family-to-Work-Positive Spillover: 家庭から仕事へのポジティブな影響) が関連し、多重役割がある女性看護師の職業経験の質向上は FWPS のみならず FWNS (Family-to-Work-Negative Spillover: 家庭から仕事へのネガティブな影響) も関連することが新たに示された。よって、女性看護師の仕事上のパフォーマンスである看護実践の質の向上には、個人資源や仕事の資源、ワーク・エンゲイジメントのみならず、プライベートからのポジティブな影響を増やすことに加えて、多重役割を担う女性看護師は、プライベートからのネガティブな影響を減らすことが重要だと考える。

##### (2) 本調査の結果

本調査 (調査票の配布数 5036 人、回収数 1872 人 (回収率 37.2%)、有効回答数 1818 人 (有効回答率 36.1%)) の分析の結果、多重役割のある女性看護師は、多重役割のない女性看護師よりも精神健康度および看護実践の質と正の相関がある職業経験の質が高く、予備調査の結果と一致した。また、最終アウトカムとしての精神健康度には、SOC (ストレス対処能力)、ストレス対処行動の「回避と抑制」、仕事の要求、仕事の資源、ワーク・ライフ・バランス、疲労、多重役割の有無が関連していた。一方、職業経験の質には、SOC (ストレス対処能力)、ストレス対処行動の「積極的問題解決」、資質的レジリエンス、獲得的レジリエンス、仕事の資源、ワーク・ライフ・バランス、ワーク・エンゲイジメントが関連していた。これらの結果は、JD-R モデル (Job Demands-Resource model: 仕事の要求度 - 資源モデル) と一致し、本研究で着目した「家庭領域」の要因も健康・組織アウトカムに関連した。女性看護師が生き生きと労働生活を送るためには、「仕事領域」のみならず「家庭領域」の要因の重要性が示された。

#### < 引用文献 >

1. Do multiple personal roles promote working energetically in female nurses? A cross-sectional study of relevant factors promoting work engagement in female nurses, Nagisa Okada, Kosuke Yabase, Toshio Kobayashi, Hitoshi Okamura  
Environ Health and Prev Med, 2019(<https://doi.org/10.1186/s12199-019-0810-z>)
2. 鈴木美和、亀岡智美、舟島なをみ: 看護職者の「職業経験の質」と「看護の質」との関連、看護教育研究 12、10-11、2003

5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕 計2件（うち査読付論文 2件 / うち国際共著 0件 / うちオープンアクセス 2件）

1. 著者名 Okada Nagisa, Yabase Kosuke, Kobayashi Toshio, Okamura Hitoshi	4. 巻 24
2. 論文標題 Do multiple personal roles promote working energetically in female nurses? A cross-sectional study of relevant factors promoting work engagement in female nurses	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Environmental Health and Preventive Medicine	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1186/s12199-019-0810-z	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 岡田 なぎさ, 中田 光紀, 中野 正博, 酒井 久美子, 鷹居 樹八子, 児玉 裕美, 小林 敏生	4. 巻 40
2. 論文標題 妻または母親役割を持つ看護師の精神健康度に関連する要因およびストレス対処能力 - 結婚, 出産, 育児による離職経験の有無別の検討	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 産業医科大学雑誌	6. 最初と最後の頁 53-63
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.7888/juoeh.40.53	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

〔学会発表〕 計4件（うち招待講演 0件 / うち国際学会 1件）

1. 発表者名 岡田なぎさ 八橋孝介 中田光紀 小林敏生
2. 発表標題 女性看護師の職業経験の質の実態と影響要因-仕事と家庭における多重役割の有無による比較-
3. 学会等名 第93回日本産業衛生学会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 Nagisa Okada, Kosuke Yabase, Toshio Kobayashi
2. 発表標題 Can multiple roles at work and home improve the mental health of female nurses?
3. 学会等名 45th STTI (Honor Society of Nursing, Sigma Theta Tau International) Biennial Convention (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 岡田なぎさ、八橋孝介、中田光紀、小林敏生
2. 発表標題 女性看護師の職業経験の質への影響要因-仕事と家庭における多重役割の有無による比較-
3. 学会等名 第93回日本産業衛生学会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 岡田なぎさ、八橋孝介、小林敏生
2. 発表標題 妻/母親役割を持つ女性看護師が生き活きと働くための要因に関する研究 ワーク・エンゲイジメントの実態とその影響要因
3. 学会等名 第35回産業医科大学学会
4. 発表年 2017年

〔図書〕 計0件

〔産業財産権〕

〔その他〕

-

6. 研究組織

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究 分 担 者	小林 敏生  (Kobayashi Toshio)  (20251069)	広島都市学園大学・健康科学部・非常勤講師    (35416)	

7. 科研費を使用して開催した国際研究集会

〔国際研究集会〕 計0件

8. 本研究に関連して実施した国際共同研究の実施状況

共同研究相手国	相手方研究機関
---------	---------